

(別紙3)

京都ミュージアム連携による博物館収蔵資料デジタルアーカイブ推進業務
企画提案の評価基準

評価項目	評価内容			配点
全体の評価	提案内容の的確性	仕様書を的確に踏まえ、明確かつ具体的に提案されているか。		5点
	提案内容の実現性	実施方法等が具体的で、実現性があるか。		5点
	事業への理解・知識	事業内容及び目的に関する理解・知識が十分にあるかどうか。		5点
提案項目の評価 (フェーズ1:人材育成・基盤づくり))	企画力	参加施設の実情に即し、事業の目的に結びつく研修企画・人材育成方針となっているか。講師の選定方針が妥当か。		5点
	具体性	実地研修・全体研修の対象、時期、形式、効果が具体的に記載されているか。		5点
	独創性	提案者独自のノウハウや経験を生かした具体的かつ実現可能な提案となっているか。		5点
	持続可能性 波及効果	事業終了後も参加施設が自身でデジタルアーカイブの取組を継続できるものとなっているか。 参加施設のみならず、府内博物館関係者への波及効果を意識した提案があるか。		10点
提案項目の評価 (フェーズ2:資料撮影・デジタル化・活用支援への対応)	的確性	資料撮影やデジタル化、公開において、必要な機材の手配、人員確保を行い、資料の安全確保に配慮した内容となっているか。		5点
	利活用支援の 具体性と実績	撮影データの活用提案が具体的かつ実効性があるか。過去の支援実績が記載されているか。施設ごとの課題に応じた対応力が見えるか。		5点
	独創性	撮影や活用に向けた提案等について提案者独自のノウハウや経験を生かした具体的かつ実現可能な提案となっているか。		5点
	実現性	参加11施設(1施設50点以上)の資料撮影、デジタル化を無理なく円滑に実施できるスケジュールとなっているか。		10点
業務実施面	人員体制	業務内容に応じた適正な実施体制(プロジェクトマネージャー、責任者、資格者、人員、役割分担等)となっており、業務を確実に遂行することができるか。		5点
	スケジュール	各フェーズごとに妥当な進め方や業務内容となっており、業務完了に至るまでの過程が明確に説明されているか。		5点
小 計				75点
業務実績	過去5年以内に①～④業務の実績があるかどうか。 ①資料文化財のデジタル化業務において、国内または海外において、文化財を扱う事業実績を5件以上有していること。また、その実績のうち最低3件以上は国宝・重要文化財・国及び都道府県指定文化財を扱った事業 ②歴史・考古・美術等の分野において、文書・写真のほか立体物や大型資料等を対象とした資料デジタル化を実施した実績があること ③デジタルアーカイブ公開・利活用業務において、博物館及び美術館等での類似の作業実績を5件以上有していること ④博物館や自治体等へのデジタルアーカイブ指導及び支援の実績を有していること	4つ該当し京都府内事例あり	5点	5点
		4つ該当	4点	
		3つ該当	3点	
		2つ該当	2点	
		1つ該当	1点	
		概要なし	0点	
府内企業	京都府内に、本店、支店又は営業所等を有する者であるか。	府内に本店がある	5点	5点
		府内に支店、営業所がある	3点	
		上記以外	0点	
価格点	満点(15点)×(提案価格のうち最低価格/自社の提案価格)			15点
小 計				25点
合 計				100点

【配点基準】各項目について、下表の5段階で評価する。(価格点、業務実績点、府内企業点を除く)

配点	極めて 優れている	優れている	普通	やや劣る	劣る
10点	10点	8点	6点	4点	2点
5点	5点	4点	3点	2点	1点